
死ぬ？生きる？

光夜 瑪瑙

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死ぬ？生きる？

【Nコード】

N1267L

【作者名】

光夜 瑪瑙

【あらすじ】

世間に絶望している「引きこもり」の高校生 辰宮 真琴
気まぐれでとある島に訪れ、海岸を散策していた、そこに青い髪の少女が現れたが
急に姿を消す、彼女は真琴を知っているようだった
彼女は何を知っているのだろうか？

第0話 始まりはe n t e r (前書き)

初執筆です！

お見苦しいところがありますが、

それでもいいよ！って人は是非とも読んでくださいますし！

第0話 始まりはe n t e r

僕はただ、「死にたい」と思った、ただそれだけなのに。

2010年 7月26日 午後12:00 自宅

カタカタ・・・・・・・・

・・・・・・・・カタカタ

デスクトップの光に照らされた薄暗い部屋で

僕はただ意味もない事をし続けていた

世間で言う「引きこもり」というものらしい

「死にたい・・・・・・・・」

静か過ぎるこの部屋に、僕の声はとても大きく感じた

僕は死にたいといっているのに今、生きている

何故だろう？と考えることさえもいやになる

そんな事を思いながら、適当にリンクしていると、ふと目に付く記事があった

『詩聖島に来ませんか？2万で1週間の旅!』

「旅行か・・・・・・・・ここにいるよりはましかもな・・・・・・・・」

そう言いながら、僕はe n t e rを押した

第1話 波の詩（前書き）

さく々と読めるように一話一話がものすごく短くなっております

第1話 波の詩

2010年 8月12日 午前11:00 詩聖島海岸

ザアア…………

…………ザアアアア

心地良い波の音が聞こえてくる…………

それは音というよりも詩のように聞こえた

あんな電磁波にまみれた部屋よりも全然良い

何も考えたくなくなる…………

しばらく海岸を歩いていると、前に誰かいるのに気づいた

おそらく13、4歳くらいだろう

島人らしき女の子が、ただ海を眺めていた

その子の髪は異様なほど青く、人とは思えない美しさだった

僕がしばらく眺めていると、いきなり女の子が話しかけてきた

「貴方の名前は？」

かなり唐突だったが、

「辰宮…………辰宮真琴…………」

聞こえているかどうか分からないような小声で答えた

それをきくやいなや

彼女はいつものまにか僕の目の前に来て、手を握っていた

本当に一瞬だった

(こいつ…………人間か?)

「真琴…………貴方は…………まさか…………」

急に彼女は目を見開いて、僕の手を強く握っていた

彼女には到底出せないであろう力だった

(このままでは折られる・・・)

やっとの事で手を離し、彼女のほうを見た

だが、彼女はいなかった

残るのは僕と潮風と波の詩だった。

ザアアアア・・・

・・・ザアアア

「あの子が・・・神木の・・・」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1267/>

死ぬ？生きる？

2010年10月14日13時54分発行